

V1 - V2

手動加減圧ポンプ(気体圧力用)

V1型 (気体圧力用加減圧調整器)

内容量 約1リットル



V2型 (微圧力用シリンダ内蔵加減圧調整器)

内容量 約0.5リットル



V1、V2型手動加減圧ポンプは、気体圧力重錘型圧力標準器、液柱型圧力計、デジタル圧力計、各種圧力センサ及び工業計器等の調整、検査用の空気源として気体圧力の加圧減圧に使用する手動加減圧ポンプです。外気(空気等)をポンプ内に吸入して加圧することにより最大500 kPa まで使用できます。耐圧700 kPa、また内気排気して減圧することにより約-90 kPa までの負圧力に使用できます。



V1型、V2型 使用説明

加圧操作(正圧)

- ① 圧力取出口にチューブ等を接続します。接続口が2箇所以上ある場合は、付属品のT継手を使用します。
- ② 正面左側の空気吸排気弁を開けます。
- ③ 加圧ハンドルを左に回し手前に引き出します。この操作で空気がシリンダ内に吸入されます。
- ④ 空気吸排気弁を閉め圧力取出口の弁を開き加圧ハンドルを右にゆっくり回し加圧します。
(V2型の場合は、外側のハンドルで大きく加圧調整し内側のハンドルで小さく微調整します)

減圧操作(負圧)

- ① 空気吸排気弁を開けます。
 - ② 加圧ハンドルを右に回し最後まで送り込みます。この操作でシリンダ内の空気が排気されます。
 - ③ 空気吸排気弁を閉め圧力取出口の弁を開き加圧ハンドルを左にゆっくり回し減圧します。
(V2型の場合は、外側のハンドルで大きく減圧調整し内側のハンドルで小さく微調整します)
- ※一度の加圧、減圧操作で目的の圧力に達しない場合は再度くり返してください。
※高真空が必要な場合は真空ポンプが必要です。

